

ながと



y. kazuko



議会だより

6月定例 No. 16

平成 21 年 (2009 年) 8 月 15 日発行



「帽子の中のトマト」

1954年 素描 (27.2×38.3cm) 香月泰男美術館 蔵

主な内容

6 月定例会 学校給食センター建設へ	2 ページ
委員会議案審査	4 ページ
香月泰男美術館への対応は ほか (一般質問)	6 ページ
新議長挨拶	14 ページ
議会改革等研究会	15 ページ

6月定例会 学校給食 センター建設へ

総事業費 約11億9千万円

長門市議会6月定例会は6月19日（金）から7月10日（金）までの22日間の会期で開かれました。6月定例会では歳入・歳出予算にそれぞれ約9億2千800万円を追加した一般会計補正予算など執行部提出の議案13件をすべて原案のとおり可決し、5件の報告を受けました。

来年9月に供用開始予定の学校給食センターについては、一般会計補正予算の中に建設費が計上されており、建設の是非をめぐって議員から修正案が提出されるなど活発な議論が展開されました。

一般会計補正予算の 修正案を提出

建設の是非をめぐり活発な議論

一般会計補正予算の中に、学校給食センター建設事業費の7億3千467万1千円が計上されていました。

平成21年度のセンター建設工事は2千400食規模で鉄骨造、一部2階建て建設面積1455㎡、延床面積1624㎡、設計委託料、学校給食センター建設工事のうち既存建物解体工事を除く工事費及び給食用備品購入の7割相当額を平成21年度事業分として予算計上し、残り3割相当額を平成22年度までの債務負担行為としています。

本市の学校給食施設は、自校方式10ヶ所及び共同調理場3ヶ所で運営



廃止予定の深川小学校の給食施設を視察（文教厚生委員会）

していますが、大半の施設が老朽化しており、文部科学省の学校給食衛生管理の基準及び厚生労働省の大量調理施設衛生管理マニュアルに適合した施設整備が求められています。

こうしたなかで、学校

給食センターを建設し、一元化による集中管理によって経費の削減、献立及び給食単価の統一を図るとともに、衛生管理を徹底し、安心・安全な給食の提供に努めるものです。

委員会では 修正案を可決

6月30日、文教厚生委員会（岡崎巧委員長ほか6人）が開かれ、委員会の所管する一般会計補正予算の関係項目について審査が行われました。

この中で先野正宏委員から修正の動議が提出されました。修正の内容は、学校給食センター建設事業費に関わる歳出予算の補正額7億3千467万1千円及び債務負担行為3億199万7千円を減額するものです。その理由として「学校給食施設建設事業については、今年度の主要施策に位置付けられる事業で、今回の議会でJ Aの要望書や仲買の組合の方からも建設見直しの陳情書が出ており、住民や保護者の説明も十分ではないかとの声も聞いている。今、早急に給食施設を1センターに

しなくても、教育関係者

や保護者などともう一度よく協議し、複数センターが良いのか、1センターが良いのか、児童・生徒にとって何が一番良い案なのかをもう一度考え直すための減額措置」との説明がありました。

委員会では修正案に賛成する意見と反対する意見が出されましたが、採決では可否同数となったため、委員長裁決とし、修正案を可決しました。

賛成少数で 修正案否決

本会議では、文教厚生委員会と同様の補正予算の一部修正案（提出者Ⅱ

先野正宏議員、賛成者Ⅱ岡崎巧議員）が提出されました。修正案提出者に対して議員より「改築が予定され今回予算が計上されている深川小学校の給食は、給食センターで

採決の結果、議長を除く19人のうち、給食センター建設予算のすべてを全額削除する修正案に6人の議員が賛成しましたが、賛成少数で否決し、原案を可決しました。

原案を可決しました。



平成22年9月供用開始予定の学校給食センター（完成予想図）



改築予定の深川小学校

深川小学校の改築事業に係る校舎や屋内運動場の実施設計に係る委託料、地形測量業務及び地質調査業務に係る委託料について、委員から「深川小学校改築事業の実施設計業務については長門市内の業者を考えているのか」との質疑があり、

「地元業者で指名競争入札をおこないたい」との説明がありました。これを受け委員からは、「基本設計業務を請け負った設計業者が、随意契約で実施設計業務も委託されるのが一般的ではないのか」、「プロポーザル方式とは質の高い建

深川小学校改築の設計業務はどうなるか 文教厚生常任委員会

物を作るために、契約金額だけではなく、クリエイティブでイメージレーションのある専門的な知識を持った業者を選定し、随意契約により業務委託をするもので、基本設計のコンセプトを生かすためには実施設計も同じ業者がするのが一番だと思いがどうか、「今後も基本設計と実施設計の入札は別々に行われるのか」との質疑がありました。

執行部からは「基本設計をおこなった業者が随意契約で実施設計もおこなうことが多い。実施設計を指名競争入札でおこなった自治体もあり、市内の業者で指名競争入札を考えているが、指名については指名審査会がおこなうので回答できない」「今回の入札については例外と考えている」との回答がありました。

県補助事業の「シカ被害防止対策事業」が廃止になり、その対応策として単市事業により補助単価を材料費のみで取り組むとして、予算の組み替え措置が講じられています。

委員から「有害鳥獣の防止施設用備品について受益者負担はあるのか」との質疑に対して、「この事業は市が事業主体となって施設を購入し、地元へ貸与して管理委託を

後継者育成が重要なテーマ 経済建設常任委員会

するもので、備品の耐用年数が経過した後、地元譲与する」とし、負担額については「利用料として購入費用の1/4を納入してもらうことになる」との説明でした。

「水産業費」について委員から、新規漁業就業生産者整備事業費補助金200万円についての質疑があり、執行部から「新規事業者に貸し出す事業であり、漁船・漁具等の購入経費に対して事業主体の漁協が1/2、県

と市が1/4ずつを助成する制度である」との答弁がありました。

また、委員から「新規だけでなく、親の後を継いで漁業をする子にも補助ができるように今後、検討できないか」との質疑に対して、「農林業や漁業は後継者の育成が本行政のテーマの一つでもあるので、そうした事業の中で少しでも補助することができるよう県漁協等に要請をしていきたい」との回答がありました。



担い手の確保が急がれる漁業

委員会議案審査

6月定例会に提出された一般会計補正予算などの議案は本会議の質疑を経て、所管の各常任委員会に付託し慎重に審査します。

執行部から説明聴取などを行い、委員会としての議案等に対する態度（原案可決、原案否決等）を決定しています。

緊急雇用創出事業に どう取り組むのか

総務常任委員会

「消防費」の「消防及び防災情報確認点検事業委託料」については、執行部から「119番受信時の発信場所確認の地図検索システムの構築を業者に委託することにより、新規雇用を創出するものである。」

全額県補助金による緊急雇用創出事業であり、具体的には委託料の人件費割合を7割以上とし、新規雇用者5名、業務期間を4ヶ月

と予定しており、市内在住の失業者などを最優先として雇用するもので、公共職業安定所などに求人票を提出するなど、幅広く対象を募ることとなる」また、「業務内容は、地図検索システムの基礎データとなる住宅及び事業所の電話番号の入力、並びに消防水利などの基礎データの入力作業を行うものである。」

事業完了後は、データソフト並びにパソコン1台を受け取り、通信指令室に配備運用し、地図検索システムにより、119番受信時の発信場所や、周辺の消防水利などの状況が、迅速かつ的確に確認できる。その結果、現場活動が一層充実する効果が期待される」との補足説明がありました。

委員から「本事業による新規雇用について、どのように人選するのか」との質疑には、「受託業者が、公共職業安定所などに求人票を提出するなどの募集により、市内の

方を選し、雇用することになる」との回答がありました。

香月泰男生誕100年記念事業の準備委員会設置に関わり、委員から「準備委員会の委員の人数、さらに県の記念事業との兼ね合い」について質疑があり、「今年度中に2回開催する予定としてお

り、委員については、10名の方を予定している。なお、人選についてはまだ検討していない」また、「県の記念事業との関係については、県としても事業を考えられていると思うが、まだわからないため、今後話を聞く中で、事業連携が決まってくると考えている」との回答がありました。



ハローワーク萩長門分室

一般質問

問 農業振興に
ついては、地
域の生産能力は十分
にあるものの、収穫
できた農産物をいか
に販売に結び付け
るかが課題と思っ
たか。



農業振興における 課題は何か

山根 勇治 議員



アグリ中央市場（三隅地区）

答 産地育成では、
穂垂米や棚田米
など契約栽培による米、
いわゆる結びつき米等の
特徴ある米作りの推進、
複合経営の推進、計画的
に生産出荷できる園芸作
物の産地育成などさまざ
まな角度から取り組んで
いかなければならない。

どの産業振興にもいえ
ることだが、地域活性化
には、やはり「人づくり」
だと思ふ。多様な担い手
の育成につとめ、新規就
農者への支援、集落営農
の組織化、法人化に対す
る支援等なお一層力を入
れて取り組みたい。

問 市長は就任
以来、1次産
業の活性化を図ると
言われているが、水
産振興策として計画
されている仙崎新市
場建設支援と、付随
した直販施設は計画
通り推進されるの
か。



答 仙崎新市場建
設については私
も心配している。県漁協
内では建設に一部疑問の
声もあるやに聞いている
が、7月の県漁協理事会



仙崎市場のセリの様子

で協議があり、そこで決
定されれば正式に建設が
進むと思う。必要なら私
も市長としてお願いに伺
うつもりだ。
また、鮮魚等の直販施
設の成否は中心になる

答 合併の検証を
行い、市の周辺
部が衰退しない方策を検
討し、それに基づいて各
地区の実情にあった対策
を推進したい。

農林水産業振興の 具体的方策は

新谷 勇 議員

「人材と運営母体」次第
だ。当面は既存施設を利
用した朝市形式で考えた
い。

問 周辺地域の振
興策は。

その他の質問

一般質問

南野新市長と論戦

改選後の6月定例会では13人の議員が一般質問を行っています。一般質問は市政に関して議員が質問を行い、新たな施策の提案や市政に対して意見や要望を述べ、ときには是正を求め、市政をより良い方向へ導くものです。

一般質問は、定例会において行われ、行財政全般にわたる議員主導による政策論議の場です。最近、一般質問の重要性が認識され、質問者、件数共に多くなる傾向にあります。

香月泰男美術館 への対応は

武田 新二 議員



問 香月泰男美
術館運営協議
会が、前市長に答申
を出している。この
答申に対する市の対
応を尋ねる。



香月泰男美術館

答 答申は、大き
く「今後の美術
館の運営」と「生誕100
年に向けた取り組み」の
2点に分けられる。
1点目に関しては、開
館以来16年が経過し、平
成23年には香月画伯の生
誕100年を控えているこ
とから、美術館としての
機能の充実を図りたい。
2点目については、「香
月泰男生誕100年記念事
業準備委員会」を立ち上
げ、本年度から取り組ん

問 公契約条例を
制定すべきで
はないか。

答 公契約条例の
制定は予定して
いない。

その他の質問

近代日本の洋画界を代
表する香月画伯の功績を
後世に伝える魅力ある美
術館にしていきたい。

でいく。

一般質問

問 市長の選挙公約の一つに都市計画税撤廃があるが、いつ実施する考えなのか。本市の財政状況を見た場合、歳入面ではほとんど自主的な政策を



都市計画税撤廃による財源対策は

林 哲也 議員



都市計画税の課税区域（東深川）

答 任期前半までには実施したい。徹底した行財政改革をすすめるため、財源を確保したい。

とる余地は残されておらず、歳出の部分に手を加えなければならぬ。都市計画税を撤廃した場合、約2億2千万円の財源不足となるが、どう対応するのか。

答

その方向で検討する。

問

新型インフルエンザの蔓延防止策として、国保の資格証明書発行世帯にも短期被保険者証を交付すべきではないか。

その他の質問

答 地場産物の利用、地産地消への取り組みについては、新たな食材供給システムの構築に向け、生産者や

問 学校給食センター建設について、市長は食材の供給システムの構築をし、地産地消を図るとの事だが、進捗状況が見えてこない。また、保護者や関係者への説明が十分ではないか。



学校給食の地産地消をどうするのか

岡崎 巧 議員

関係団体等との協議を進めているところである。食材に関しては100%地元納入を目指していきたい。

答

この事業が畜産農家にとってより良い制度にしたい。

問

市有繁殖雌牛貸付事業の運用見直しを。

その他の質問



長門青果市場（中山）

一般質問

市広報の発行変更は慎重にすべき

田村 哲郎 議員



問 市長は市広報の発行を月2回から1回にすると言われている。行政サービスの根底にある「情報提供」の点からも、地域ごとのまちまちな「行政協力員」の報酬の扱い等、問題が多くあり、慎重に庁内協議をすべきではないか。

答

これまでにも文書配布の負担軽減のため、月1回発行の要望を多く聞いている。特に日置・油谷地域からは選挙の時にも強く要望された。自治会連絡



市の広報紙

問

地域審議会のあり方は。

その他の質問

答

地域審議会の運営については再検討することもあると思う。

協議会にも協議をお願いしているが、行政協力員の方のお話も聞き、庁内協議も重ねて検討したい。実施時期については、現時点では明らかに出来ない。

高齢者ひとり暮らしの方への対策は

阿波 昌子 議員



問 長門市の高齢化率は33.2%。今後更に高齢化が進む中で、一人暮らしの高齢者が増大している。地域での助け合い、支え合いがますます必要に

答

第1次長門市総合計画の基本目標の一つである、生きがいと笑顔があふれるまちづくりに向け、高齢障害課内に設置した高齢者の総合相談窓口としての

なるが、その取り組みについて尋ねる。



地域包括支援センター（高齢障害課内）

地域包括支援センターを中核として、高齢者個人の状況に応じ、きめ細やかなサービスを充実させるとともに、高齢者自身の持てる力を発揮し、また地域での支え合い、助け合いのもとで高齢者が住みやすいまちづくりを行っていききたい。

一般質問

問 四月に行われた長門市議会議員一般選挙の開票における中間発表は、不手際きわまりないものであった。こうしたことは、行政に対する不信と



選挙業務の適格な判断と責任を

長尾 実 議員

信頼の失墜につながる。選挙管理委員会、今回の開票事務についてどう総括したか。

答 中間発表において不手際があり、関係各位にご迷惑をお掛けいたしましたことを、深くお詫び申し上げます。今回の選挙の総括に基

づき、的確な選挙事務の遂行のため、今後このようなことが二度と起こらないように、厳しく指導したい。職員配置等の再検討や、開票事務マニュアル等による開票事務作業の徹底を図り、正確で且つ迅速な開票事務を遂行していくことが私どもに課せられた大きな責務であると思っている。



選挙開票事務の様子

答 市民の負託を受けて市長の座についた。色々市民に約束しており、約束を一つ一つ解決するため、私の思いが通じなければ、思い切った組織改革、人事

問 長門市の財政状況が厳しいなか市政の舵取りは大変だと思うが、公平・公正な長門市の行政運営をどのように考えているのか。



公正・公平な行政運営をどうするのか

大下 和政 議員

異動をやりたい。組織の再編については、プロジェクトチーム

で早々に検討に入り、多少時間はかかると思うが、再編に努めたい。入札については、特定の業者に偏った指名を是正し、市民の目線で見て公平・公正だと思われる制度にしたい。



長門市役所市民課

一般質問

被災者支援システムの導入を急げ

先野 正宏 議員



問 被災者支援システムの導入はしているのか、していないのであれば今後導入する予定はあるのか。

答 本市も早速テスト導入し、被災者支援システムで構築されている各機能を体験し、システム導入の研究を行っていききたい。



防災訓練（俵山）

問 市長の目指す産業振興による地域活性化とは何か。

答 民間の委員で構成する「ながと地域再生戦略会議」を設置し、行政の枠にとられない斬新な感覚で、幅広く意見を求めたいと考えている。

商工業の振興について

三輪 徹 議員

の対策はどうするのか。

答 商工業を初めとする地域産業の振興のため、行政と商工会議所や商工会、民間事業者の皆さんが本音で活発な議論を交わす場を設け、知恵を出し合い、活性化の糸口を見出していききたい。



長門商工会議所

問 長門市の教育をどのようにしたいのか、教育長の所信を尋ねる。

答 第1次長門市総合計画の中で教育の充実を主要な施策としている。これを目標として取り組んでいきたい。

その他の質問

その他の主な議案審査

市長給与30%カット



議案の説明を行う南野市長

今年4月に行われた市長選挙の公約の中に、市長給与の30%カット、市長退職金の50%カットをはじめ、特別職の給与、手当等を大幅に見直し、財政危機脱却に向けて自ら襟を正すとしていました。

「長門市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例」は、市長の給与を本年8月から現行の79万円を30%カットした

報酬審議会に改めて諮問

議員の報酬額並びに市長、副市長及び教育長の給与額等について審議をお願いしたいと考えている。この審議結果を踏まえ、改めて来年3月定例会に市長等の給与について、調整した条例改正案を提出したいと考えている。この説明がありました。

委員から「今回の給与カットと報酬審議会との関係はどうなるのか」との質疑に対し、「今回の給与カットについては、あくまで市長の選挙公約

自ら襟を正す 選挙公約の具体化

55万3千円に、教育長の給与を現行の56万円を15%カットした47万6千円とするものです。なお、本条例は附則において、平成22年3月末までの期間としています。

人事案件

監査委員と教育委員の選任案を賛成多数で同意しました。



監査委員
鐘崎 英二

略歴
長門市役所 平成20年3月退職



教育委員
嶋田 靖代

略歴
学校法人長門高等学校非常勤講師
金子みすゞ記念館 学芸員

一般質問

主幹産業の 畜産振興策を図るべき

重村 法弘 議員



本市の主幹産業の一つに畜産があるが、職員の業務体制や就農者支援のための振興策をどのように考えているのか。

市長は6次産業推進室を就任直後に廃止したが、今後の経済振興策についても問う。

問

本市の主幹産業の一つに畜産があるが、職員の業務体制や就農者支援のための振興策をどのように考えているのか。



支援体制の強化がもめられる畜産業

ついている分野である事を十分認識し、今後も振興を図ると共に、従事者・就農支援策の一つである市有繁殖雌牛貸付事業の見直し検討を図り支援体制の強化に努める。

風力発電への 市の対応は

三村 建治 議員



油谷・日置地区で計画推進されている風力発電に対する市の対応について。



風力発電の風車（妙見山）

答

電源開発から風力発電施設を設置について協力依頼があり、市として計画に協力する旨回答した。今後は、市からオプザバードに参加することはあるが、風力発電の推進に当たって業者のお手伝いを

するようにはしない。

市としては何が何でも設置したいというのではなく、地域住民の方々がだめだというものは、やれるわけではないので、地域住民の意向を尊重したい。



議会改革等研究会

市民の負託に応える

議会活性化に取り組む

4月の改選を経て新たな構成での長門市議会がスタートしました。市民の負託に応える、開かれた旺盛な議会活動が求められています。

こうしたなか、長門市議会は第4次となる議会改革等研究会を立ち上げました。研究会は議長を除く全議員で構成され、議会運営委員会に所属する委員が理事となり、改革すべきテーマなど、主要な論点整理をおこないます。研究会では議会活性化に向けた取り組みや、市民の要求を的確にとらえた真剣な議論をおこなっていきます。

議事機関として政策立案能力を高め、地域の要求課題に応じた政策形成力をつけ、市長の市政運営のチェック機能の強化の立場から、問題点を提起してまいります。



受賞おめでとうございます

議員表彰

今津一正議員（油谷大浦）が全国市議会議長会から在職15年以上の議員に贈られる永年勤続表彰を受賞しました。

第3回臨時議会 4,000万円 人件費削減へ

一般職の給与に関する 条例等の一部改正

人事院は国家公務員の夏の期末勤勉手当の一部を凍結する臨時勧告をし、政府は勧告通り実施する法律改正を行いました。長門市も国に準じて市職員は夏季一時金0・2ヶ月、市長・議員などの特別職0・15ヶ月分を減額しました。人件費削減効果は約4千万円となります。

第3回臨時会は5月29日に開催されました。執行部は条例改正案や工事請負契約の締結など4議案を提出し、すべての議案を賛成多数で原案のとおり可決しました。

新議長挨拶

長門市議会議員 松永 亘弘



青空に浮かぶ入道雲、夏木立の緑濃く、蟬時雨のかまびすしい季節となりました。

さて、去る5月の第2回長門市議会臨時会におきまして、議長に就任することとなりました。就任にあたり市民の皆様一言ご挨拶と、わたくしの所信の一端を申し述べさせていただきますと思います。

議員 一人ひとりの責任

現在の長門市の経済状況は混沌としており、先行き不安の状態から一歩も踏み出せません。こうした状況下において、1次産業の振興と長門市経

済の安定確立のため、市政刷新をスローガンに掲げた南野新市長が市民の期待を担って誕生しました。

同時に私たち市議会議員も、様々な主義主張がある中で、長門市の未来に向けて、議決権、調査権、監査請求権等様々な権限を行使して、議決・監視機関としての機能を果たすべく市民の皆様からそれぞれ選出されたところであります。このたびの選挙では、議員定数が三十人から二十人となり、また委員会も四委員会制度から三委員会制度となり、議員一人ひとりは、これまで以上の責任を自覚し、市民の代表として活動することとなります。

行政の監視は 市民の目線で

さて、南野新市長は長門市を一隻の船にたとえられてお話をされています。私は、その船の構造として、市執行部と議会とは双つの胴体で出来上がった、いわゆる双胴の船であり、長門市は双胴船の甲板上に構築されたものというふうにとらえられるのではないかと思います。

双胴船は一定の幅で繋がれており安定性は優れて居ります。しかし片方のエンジンだけでは正常な航行は望めません。二つのエンジンが協調してこそ目的地への安全な運行が可能であり、施策が

生かされるものであります。

地方分権が進み、住民自治の充実の必要性が指摘されております。私たち市議会議員は決して

「戸位素餐」の政治家に陥ることなく、これからも市民の目線で行政を監視し、市民の声を行政に届けていく所存でございますので、市民の皆様におかれましては、これまでに以上議会に対してご意見やご要望をお寄せくださいますように心からお願いいたしますとともに、今後とも市議会に對しまして一層のご理解、ご支援を重ねてお願い申し上げます。

「戸位(しい)素餐(そさん)・・・高位の者がなにもせず高給をとること

「新たな

船出にあたり」

議会だよりは 市民と議会をつなぐ情報紙 委員会も頑張ります！

長門市議会では「議会だより」を年4回開催される定例会ごとに発行し、主な議案の審議結果や一般質問、委員会活動の報告などをお知らせしています。開かれた議会を、後日、情報面から補完するのが議会広報誌ですが、現在、多くの市町村議会で独自の議会広報を発行し、情報の提供に努めています。

議会だよりを編集する議会だより特別委員会は6人の委員（林哲也、三村建治、田村哲郎、大草博輝、先野正宏、重村法弘）で構成されています。定例会後に委員会を開いて、原稿や写真撮りの担当者を決めて編集作業に取りかかります。

議会だよりの目的は、「議会活動状況を広く市民に知らせ、議会に対する理解と認識を深めるとともに、市政への関心と自治意識の高揚をはかるため、発行する」として



編集作業の風景（議会だより特別委員会）

議会活動の状況を正しく伝え、住民の自治意識を盛り上げ、批判力を高めるためにも議会だよりの充実が欠かせません。これからも紙面のいっそのレベルアップを図るため、議会だよりに関する専門的な研修を受け、議会だよりの作成にあたっていきます。

編集委員一同、市民のみなさんから、読まれ、親しまれる議会広報にするために全力で取り組んでいきますので、よろしくお願いいたします。

議会だよりに対するご意見・ご要望がありましたら、お気軽に議会事務局へお問い合わせください。

今回の表紙

帽子の中のトマト

夏を代表する食材のトマト。香月泰男は婦美子夫人が台所で調理する野菜や果物、焼魚やハムなどを数多く描いており、戦後の一時期「厨房の画家」とも呼ばれた。婦美子夫人によると、画伯は「これを描いたら？」と夫人が勧めると知らんぷりをするので、何気なく目に留まるように勝手口の隅っこに置いておくと、翌日には、絵になっていたという。

作品は、対象の特長を捉え、みずみずしい質感が、観る人に伝わってくる。

〈私の〉夏景色展に展示中 9月27日まで

香月泰男美術館

編集後記

旧三隅町議会の「議会だより」では香月泰男画伯の作品が表紙を飾っていましたが、平成23年には香月画伯の生誕100年を迎えることから、香月画伯の作品を紹介していきます。

本誌の発行日は8月15日。この日は戦後64周年の終戦記念日にあたります。戦争の愚かさや平和への願いを絵画に込めた香月画伯。終戦記念日は犠牲になった方々をいたみ、戦後の苦難に思いをはせながら、戦争を許さず平和を求める決意を新たにします機会です。

議会だより特別委員会 委員長 林 哲也